

穏やかな日差しの中2月がスタートしました。空気の冷たさが、ほど良い緊張感となり、これから始まる2月の毎日に気持ちが引き締まってきます。

節分を前に、こども園ではひと足早く、今日豆まきをしました。今年は大きいクラスに赤と緑の怖い鬼がやってきました。みんなびっくりして大騒ぎ。頑張って新聞紙で作った豆をまき、自分の心の中の鬼、わがまま鬼、泣き虫鬼など追っだし、鬼さんと仲直りの握手をしたお友達もいました。一年間元気で過ごせるようお願いながら豆（豆に似たお菓子）を食べました。

この行事が終わると、後期の保育参観があり、4月から始まった保育もまとめの時期になってきたことを実感します。子どもたちからも進級・進学を楽しみにする声が聞かれ、期待や自覚も高まっている反面、園生活に慣れ、どうにかすると自分勝手になったり、だれたりしがちになります。

今月の目標は『よく考え落ち着いた暮らしをしよう』。子どもたちの成長を認め喜びながらも、静かに目を閉じ周りの音に耳を傾ける、静かな心で話を聞くといい落ち着いた時間が大切であることも知らせていき、毎日を送るよう努めていきたいと思います。

1年で最も日数が短い2月。あっという間に過ぎ去る『逃げる月』の一日一日を大切に過ごしたいと思います。

- 0歳児・・・友達との関わりを広げる
- 1歳児・・・“自分で”を大切に
- 2歳児・・・身の周りのことを進んで自分からできるようにする
- 3歳児・・・友達とイメージを共有して遊ぶことを楽しむ
- 4歳児・・・園生活に自信を持って行動する
- 5歳児・・・友達に刺激を受け、お互いに高め合う



2月の仏教目標

禅定静寂（ぜんじょうせいじゃく）…よく考え・落ち着いた生活をしよう

禅定静寂

『心静かに落ち着いて自分の行いを振り返り、自分自身を内観し、正しい考えのもとに行動し、欲望のままに左右されることのない生活を身につける。』

私たちは、とにかく時流に振り回されて、他人がこうだから私もこうしよう、こんなことをしていたら時代遅れだ等、事故の考えが水に漂う浮草的思考となったり、また、逆に自己主張の実が正しくて、他の主張は愚劣なものとして決め付け、あるいは又、無関心であったり、そのいずれも自己を内観した思考や行動ではなく、放縦（勝手気ままにふるまう）そのものになっているように思われる。

忙しい激しい時こそ、平常心として落ち着いて物事の判断をし、平らかな生活をしていきたいと思います。



2かっの行事予定

- 1日（木） 節分会（完全給食）
- 2日（金） 保幼小交流会（そら組）
- 7日（水） 後期保育参観
- 8日（木）
- 9日（金） 幼児体育（にじ・そら組）
- 14日（水） 内科検診（全園児）
- 15日（木） 涅槃会
- 19日（月） 避難訓練
- 21日（水） 誕生会（完全給食）
- 22日（木） 幼児体育（にじ・そら組）
- 28日（水） 園外保育（予定・そら組）
- 29日（木） 英語教室（にじ・そら組）

毎週火曜日は“にこにこランド”異年齢交流の活動があります。

うるう年って??

今年2024年は2月29日がある年です。なぜ4年ごとに1日延びるのかというと、地球が太陽の周りを1周するには365日と約6時間かかるためだそうです。1年に6時間ですので、約4年で24時間。ちょうど1日延びるということです。4年に1回やってくる特別な一日を、楽しく過ごしましょう。

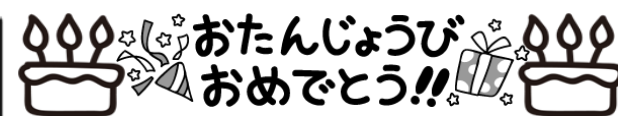


おねがい

- エネルギーの代謝が盛んな子どもたち。厚着のまま遊んでいると、戸外室内にかかわらず冬でも汗をかいています。「暑くなったら服を脱ぐ」「寒くなったら服を着る」ということをその都度知らせ、少しずつ自分で衣服の調節ができるよう促しています。ご家庭からも時季にあった衣類を着用し登園するようご協力お願いします。
- 路面の凍結が心配されます。登降園の際は転倒などに十分気を付け、お子さんから目を離さず手をつないで歩くようお願いいたします。

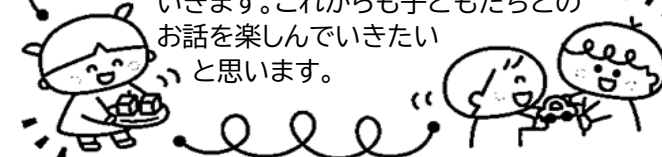
2かっの生まれのおともだち

ひなた組に誕生月のおともだちはいませんでした。



言葉のやり取り

ママごと遊びで「ごはんくださ〜い」と言うのと「はい、どうぞ!」と答えてくれる子どもたち。「これは?」「なんで?」など、好奇心にあふれた質問もたくさんしてくれます。この時期は、大人や友だちとの応答的なやり取りを繰り返す中で、次々と言葉を増やしていきます。これからも子どもたちとのお話を楽しんでいきたいと思っています。



まだまだ寒い日が続きますが、確実に春の準備は始まっています。お日様の暖かさ、木々の芽吹きなど、小さな春に気付く心の余裕を持ちたいものです。

じっくりと地に足のついた保育で、残りふた月を見据え、ひとりひとりの子どもがその年齢を締めくくることができるように計画を立て、子どもと接していくことを大切に春を待ちたいと思います。